

取扱説明書(WEB)

ドライブレコーダー

型番:IDR-C121



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。



事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源をオフしてから microSD カードを抜いて保管してください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge ブラウザ(最新版)、Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

— 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

ご使用の前に	7
安全上の注意	7
免責事項	11
使用上の注意	12
各部の名称	13
本体	13
付属品	14
取り付け	16
取り付け位置について	16
取り付け時の注意	18
取り付けかた	19
使いかた	25
基本操作・画面説明	25
録画について	28
常時録画	28
イベント録画	28
運転支援機能について	31
スクリーンセーブモード	32
映像を見る	33
microSD カード	35

microSD カードの取り出しかた.	35
フォーマットのしかた.	35
記録可能時間.	35
ファイルについて.	37
システム設定.	40
画面_1/4.	40
画面_2/4.	41
画面_3/4.	43
画面_4/4.	44
駐車監視モード・タイムラプスモードについて.	45
お手入れ.	47
お手入れ方法.	47
お困りのときは.	48
よくある質問.	48
LED ランプ確認表.	52
メッセージ確認表.	53
ファームウェアの更新.	54
その他の情報.	55
オプション品.	55
保証とアフターサービス.	58
仕様.	59
商標.	61

お問い合わせ先.....	62
--------------	----

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P8](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- ・ 運転者は走行中に操作しない
わき見や前方不注意により事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。



- ・ 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- ・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、車両キースイッチを OFF にし、シガーソケットから電源ケーブルを抜く
火災・感電・車の故障の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- ・ 本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で本製品やケーブルに触れない
火災・感電・故障の原因になります。



- ・ 本製品を医療機器の近くで使用しない
医療機器に影響を与えるおそれがあります。



- ・ 穴やすき間に、ピンや針金などの異物を入れない
感電やけが、本製品の故障の原因になります。



- ・ microSD カードは子どもの手の届かない場所に保管する
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

	両面テープの剥がれや角度調整ねじのゆるみがないか定期的に点検を行う 本製品の脱落による運転の妨げや事故の原因になることがあります。
	運転の妨げになる場所には取り付けない 事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所に取り付けない 万一、エアバッグが作動した場合、けがの原因になります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。

— 駐車監視ケーブルについて (オプション品)

	本製品を弊社対応製品以外で使用しない 対応製品以外に接続した場合、故障・破損の原因になります。
	視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない 事故やけがの原因になります。
	取扱説明書にしたがって取り付け・配線をする 火災・故障の原因になります。誤った取り扱いをすると車両に重大な支障をきたし、事故の原因になります。
	コード類は運転を妨げないように引き回し、固定する ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因になります。
	取り付け・配線後は、車両の電装品が正常に動作することを確認する 車両の電装品(ブレーキ・ライト・ホーン・ウinker・ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災・事故の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

	・ 結露したまま使用しない 故障や発熱などの原因になります。気温が低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。
	・ 本製品を下記のような環境下で保管しない 本体の変色・変形・故障の原因になります。 ・直射日光が当たる・真夏の炎天下など、温度が非常に高くなる環境 ・湿度が高い ・ほこりが多い
	・ microSD カードは差し込み方向を確認し、正しい向きで差し込む 差し込み方向を間違えると、故障・破損の原因になります。
	・ 取り付け前に車両の取扱説明書を確認する 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
	・ 本製品は精密な電子部品で構成されているので、下記のような取り扱いをしない ・本体に静電気や電気ノイズをあたえない ・本体を水にぬらしたり、落としたり、強く衝撃を与えない

— 駐車監視ケーブルについて (オプション品)

	・ 定期的に車両バッテリーの点検を行う 本製品は車両の常時電源を使用するため、車両バッテリーへ負荷がかかります。車両バッテリー上がりを防ぐために定期的に確認をしてください。 なお、車両バッテリーの不具合に関しては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
---	--

取り付け位置の注意

- ・ フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20%以内またはルームミラー裏側に設置してください。その際、ミラーと干渉しない位置に取り付けしてください。
- ・ ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。汚れや雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなることがあります。
- ・ フロントカメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。地デジ・ETC・ラジオなどのアンテナ付近に取り付けや配線をしないでください。
- ・ 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合は、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けしてください。

- 本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- 車検シールの上に貼らないでください。

免責事項

本製品はすべての映像を記録することを保証するものではありません。
万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録されたデータが破損・消失した場合など、本製品の動作有無に関わらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本製品は車載用として設計しています。
それ以外の用途(船舶・航空機・バイク・自転車など)に使用し、発生した不具合などに関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがあります。
また、いたずらなどの目的で使用しないでください。弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。
完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録されることがあります。
また、逆光や信号機自体の輝度が低い場合など、信号機の色が識別できないこともあります。
そのようなときは、前後の映像・周辺の車両状況から判断をしてください。
信号機の識別・記録に関する内容については一切の責任を負いかねます。
- 付属の microSD カード以外を使用した場合の動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いてください。

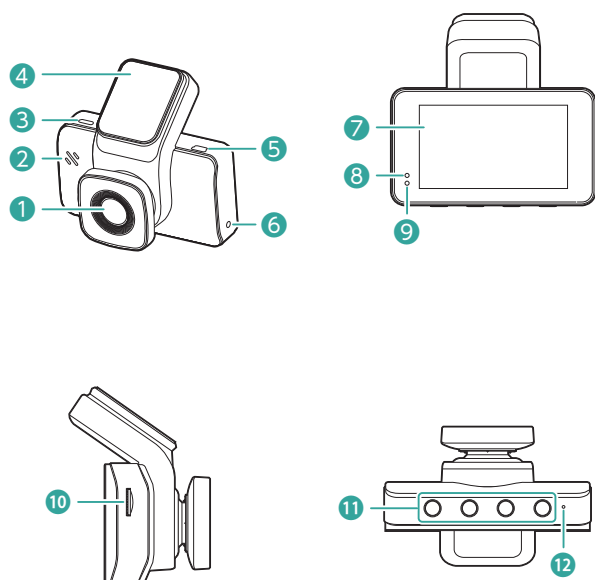
使用上の注意

- ・ 動作温度・湿度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や映像がきれいに記録されないことがあります。
- ・ 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- ・ 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- ・ リアガラスにスモークフィルムが貼られた車両(純正プライバシーガラス装着車を除く)や夜間の灯りがない場所などでは、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。
- ・ 一部の断熱ガラス(金属コーティング・金属粉入りなど)・熱吸収ガラス・ミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- ・ 地上デジタルテレビ放送受信機器を搭載している車両の場合、本製品の取り付け位置や配線などによっては、弱電地域で地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- ・ 撮影環境(逆光、強い順光)によってはナンバープレート等の文字が鮮明に読み取れない場合があります。
- ・ 事故発生時は記録された録画データが上書きされないよう、必ず microSD カードを抜いて保管してください。万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに保存することをおすすめします。

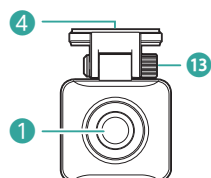
各部の名称

本体

フロントカメラ



リアカメラ



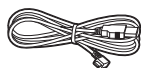
①カメラレンズ	お買い上げ時は保護フィルムが貼ってあります。はがしてお使いください。
②スピーカー	操作音や音声アナウンス・録画映像の音声などが出ます。
③microUSB ポート	GPS モジュールを接続します。 「GPS」と表示されています。
④取付ステー	お買い上げ時は両面テープが貼り付けられています。取り付け時にはがしてお使いください。
⑤リアカメラポート	リアカメラケーブルを接続します。 「R CAM」と表示されています。
⑥リセットボタン	本体をリセットし、再起動します。
⑦表示画面	各種設定画面や録画映像を表示します。

⑧電源ランプ	電源 ON すると青色に点灯します。
⑨ステータスランプ	本体の動作状態を表します。
⑩microSD カードスロット	microSD カードを挿入してください。
⑪ボタン	各種操作を行います。(→ 基本操作 P25)
⑫マイク	周辺の音を収集します。
⑬角度調節ねじ	カメラの角度を調整します(→ 取り付けかた P19)

付属品



シガーソケットアダプター



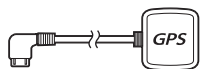
電源ケーブル(3.6m)



リアカメラケーブル(8m)



角度補正スペーサー



GPS モジュール



microSD カード(32GB)

※microSD カードは消耗品です。

ケーブルクランプは付属していません。

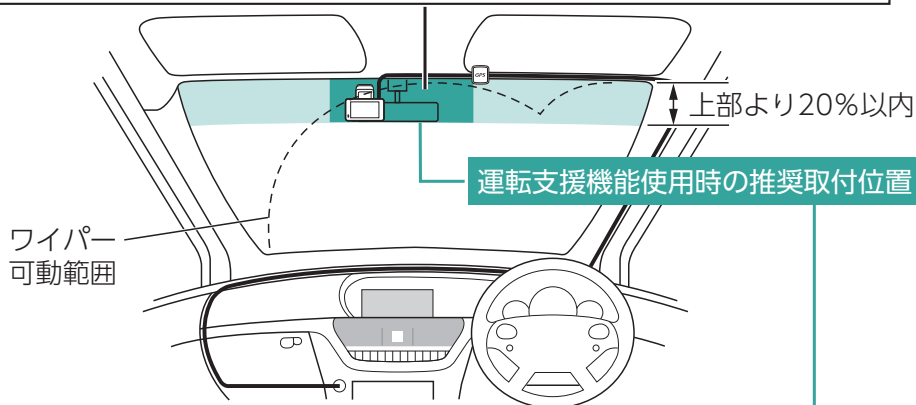
取り付け

取り付け位置について

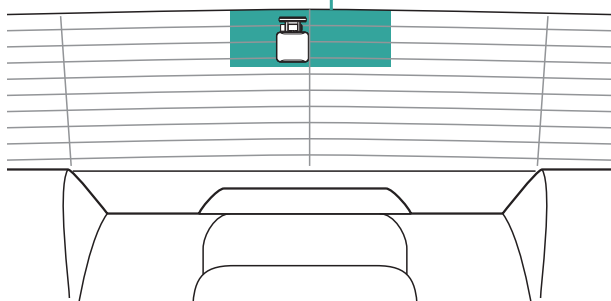
道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上、取り付けを行ってください。

運転支援機能を使用する場合、フロントガラス上部・中央への取り付けを推奨します。

 ミラー裏取り付け：フロントガラス上部より20%以内に取り付ける



 ・運転席から見て、視界を妨げない場所への取り付けを行ってください。
・ワイパーの可動範囲に取り付ける事をお勧めします。



・フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内またはルームミラー裏側に設置してください。その際、ミラーと干渉しない位置に取り付けてください。

・ワイパー可動範囲内に取り付けてください。ワイパー可動範囲外は、汚れや雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。

・車体の形状や電波を通さない一部のガラス(熱線反射ガラスや電波不透過ガラスなど)、コーティングなどが施されたガラスの場合は電波を受信しにくくなることがあります。

・GPS モジュール周辺に障害物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。GPS モジュールは他の電子機器から離して設置してください。地デジ・ETC・ラジオなどのアンテナ付近に取り付けや配線をしないでください。



注意

- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合は、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- 本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- 車検シールの上に貼らないでください。

取り付け時の注意

- ・ 剥がれの原因になるため、下記の内容を必ずご確認ください。
 - ・ 取り付け面および取付ステーの汚れ(油分・水滴など)を取り除き、乾いてから取り付けてください。ガラスクリーナーなどは使用しないでください。
 - ・ 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を温めてください。
 - ・ 一度取り付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので、再使用しないでください。
 - ・ 取り付け後、両面テープがしっかり付くまで引っ張ったり無理な力を加えないようにしてください。
 - ・ 両面テープ全体がすき間なくフロントガラスにきちんと貼り付けてください。
- ・ 下記の車には取り付けできません。
 - ・ 欧州車などエンジンを OFF にしてもシガーソケットに電源が供給される車。
 - ・ オープンカーなどリアガラスが可動する車。
- ・ 下記の車に取り付ける際には角度補正スペーサーが必要です。
 - ・ フロントガラスの傾斜が 50 度を超える車。(N-BOX、ハスラーなど)
 - ・ フロントガラスの傾斜が 25 度未満の車。(プリウスなど)
- ・ リアカメラを取り付ける前に、下記の内容を必ずご確認ください。
 - ・ リアガラスがプライバシーガラスの場合、夜間の記録映像は特に見えにくくなります。
 - ・ 両面テープをリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
 - ・ ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外は、汚れや雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・ 取り付け後は、車両電装品が正常に動作するか、必ず動作確認を実施してください。

※フロントガラスの傾斜角度など、車の仕様に関しては弊社にお問い合わせいただいてもお答えしかねます。車両販売店などにご相談ください。

取り付けかた

[日付の設定について P19](#)

[カメラの取り付けについて P21](#)

[配線と調整について P23](#)

― 日付の設定

取り付け前に、日付の設定をしてください。

- ① フロントカメラに付属の microSD カードを差し込む。
- ② 電源ケーブルに GPS モジュールとシガーソケットアダプターを接続し、GPS モジュールをフロントカメラに接続する。
- ③ シガーソケットにシガーソケットアダプターを差し込む。
- ④ 車のエンジンを ON にする。(microSD カードのフォーマット案内が出たときは案内にしたがってフォーマットする)
- ⑤ 本体画面立ち上り後、言語設定画面が表示されます。日本語で変更がなければそのまま OK ボタンを押す。
- ⑥ 次に日時設定画面が表示されます。

日付・時刻を確認し、必要に応じて◀▶ボタンで修正し、OK ボタン(右端)で設定を確定します。

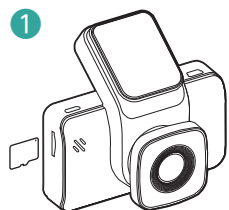
最後に戻るボタン(左端)を押して設定を終了し、カメラが動作していることを確認してください。

- ⑦ 日時の設定が終了したらエンジンを OFF にし、シガーソケットアダプターをシガーソケットから引き抜く。

注意

・時計のバックアップは約 7 日間です。7 日間以上電源を投入していない場合は GPS 取得までの間、日付時刻が正しくない場合があります。

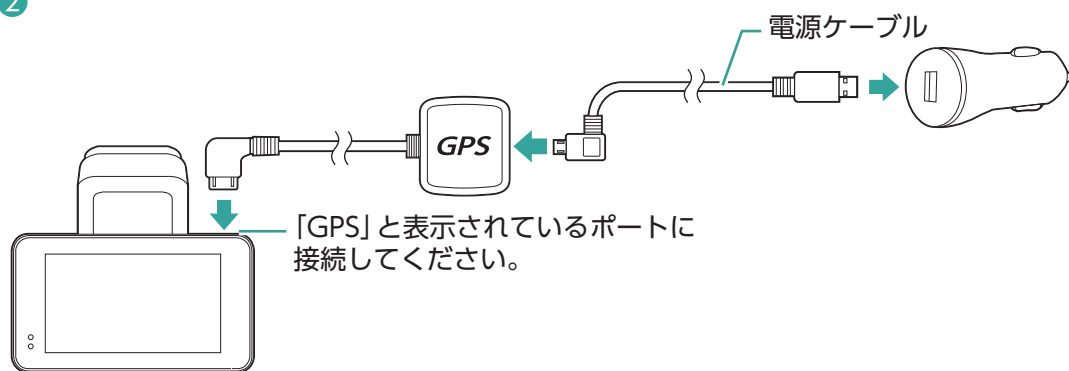
→GPS 信号を受信すると自動的に日時を調整します。



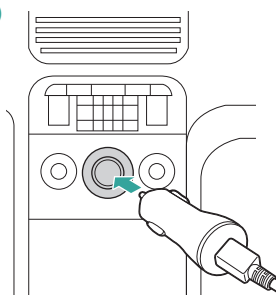
microSD カードの向きに注意してください。

→端子が画面側になるように差し込んでください。

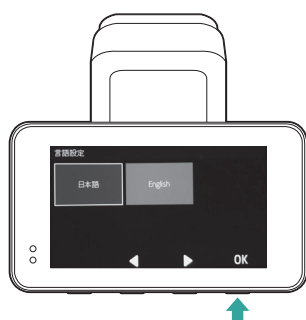
2

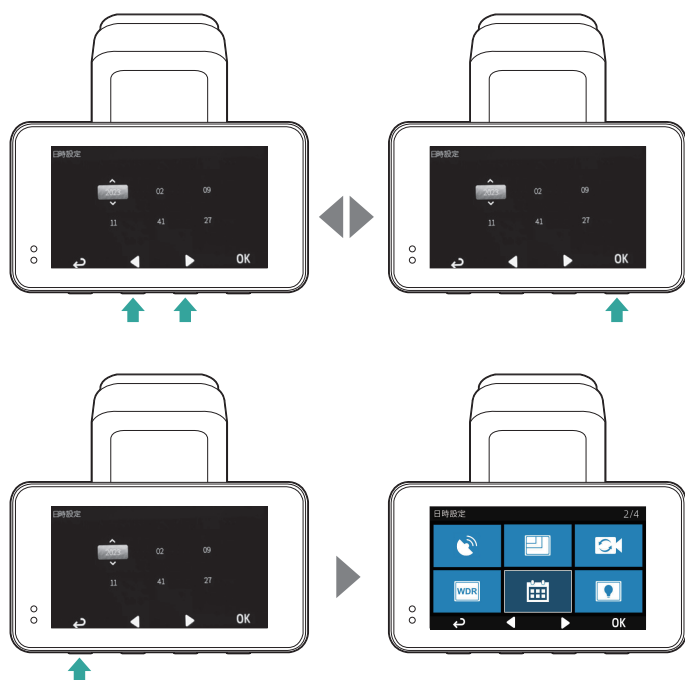


3



5





カメラの取り付け

- ①「[取り付け位置について P16](#)」を確認し、取り付け位置を決める。
- ② フロントガラスの角度を確認し、必要に応じてスペーサーを取り付ける。

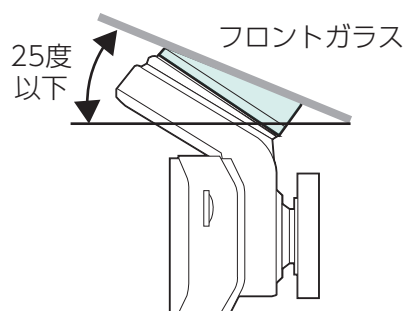
スペーサーについて

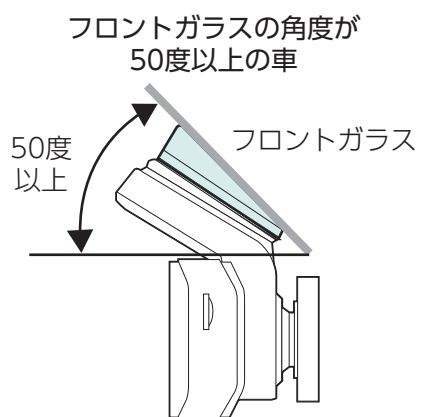
フロントガラスの角度が 25 度以下の車、または 50 度以上の車はスペーサーの取り付けが必要となります。

以下の図を参考にスペーサーを取り付けてください。

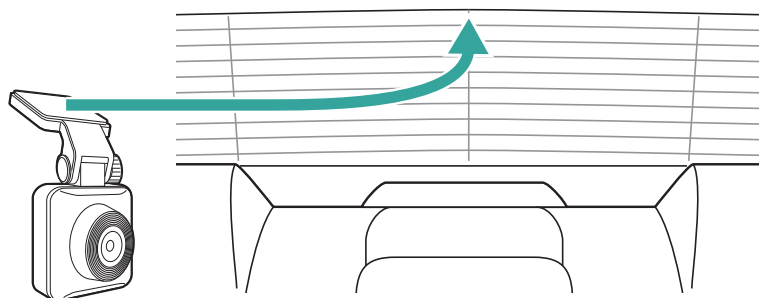
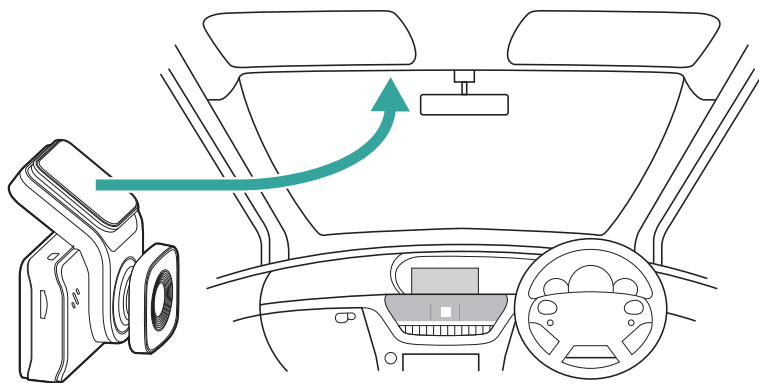
※取付ステーにスペーサーを取り付けるときは、取付ステーの両面テープを使用してください。

フロントガラスの角度が
25度以下の車





- ③ フロントガラスおよびリアガラスのカメラを取り付ける面をきれいにする。(油分・水滴がないように)
- ④ 取付ステーのはく離紙を剥がし、フロントガラスおよびリアガラスに取り付ける。



注意

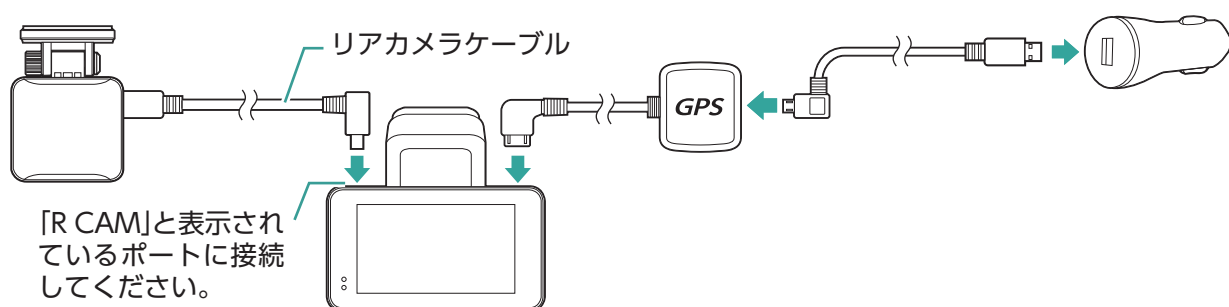
- ・取り付ける際は、片側から順に少しずつ貼り付けると空気が入りにくくきれいに貼れます。
- ・貼り付け面裏側のステー部を手でしっかり押さえて取り付けてください。取り付け後、車外から貼り付け面に気泡や貼りムラがないことを確認してください。
- ・リアカメラの両面テープ貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

— 配線と調整

① カメラと各種コードを接続する。

- ・リアカメラ — リアカメラ用ケーブル — フロントカメラ
 - ・フロントカメラ — GPS モジュール — 電源コード — シガーソケットアダプター
- (日付の設定で接続したままであれば不要です)

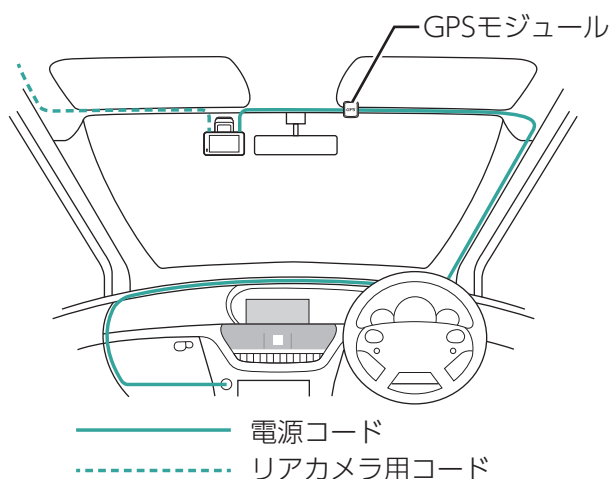
①



② 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、下図を参考に配線の取り回しを行う。

GPS モジュールは、はく離紙を剥がして、運転の妨げにならないところへ貼り付けてください。

②



注意

- ・ 地デジ・ラジオ・ワイパー・ETC などのケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・ ドアの開閉等に干渉しないよう、配線の長さにご注意ください。
- ・ ケーブルおよびコネクタに負荷がかからないようにしてください。
- ・ 配線処理をする際、車両 ECU やブローモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して配線処理をしてください。
- ・ 先進運転支援システムを搭載している車両の場合、先進運転支援システムのカメラやセンサーなどにケーブルを這わ

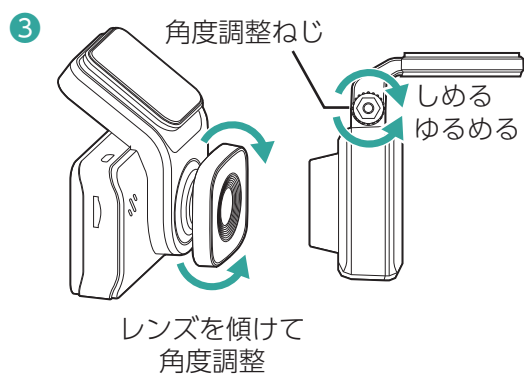
せて配線を行わないでください。

・ GPS モジュールは他の機器から 10cm 以上離して設置してください。

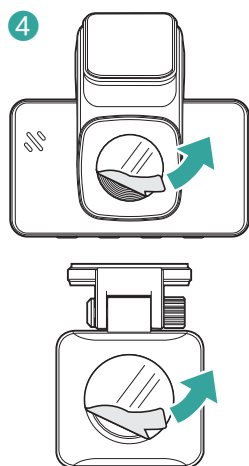
③ フロントカメラのレンズを回転させて画面に表示される映像が水平になるように調整する。

リアカメラは、角度調整ねじをゆるめて角度を調整してください。角度を決めたあとは、角度調整ねじを最後までしっかり締めて固定されていることを確認してください。ゆるみがないか、定期的に点検を行ってください。

※電源が入った状態で角度調整を行うと、衝撃の検出やスイッチ操作によるイベント録画を行うことがありますのでご注意ください。



④ レンズの保護シールを剥がす。



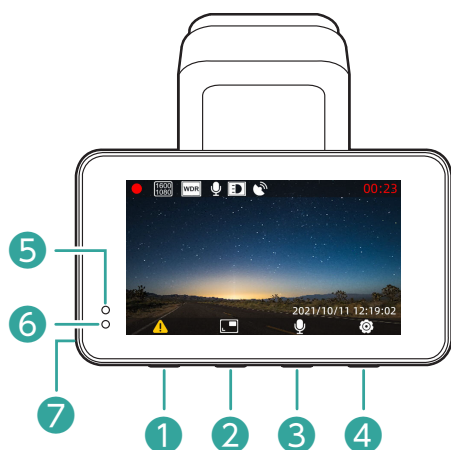
使いかた

基本操作・画面説明

[メイン画面について P25](#)

[システム設定画面について P26](#)

—メイン画面



①	 : 押すとイベント録画を開始します。
②	 : プレビューモード(液晶画面の表示)を切り替えます。 → ボタンを押すごとに画面の表示が、フロント/ リア/ 2 画面に切り替わります。 リアカメラを接続していないときは、フロントカメラ映像の 1 画面表示となり、切り替えはできません。 「 液晶表示切替 P40 」でも設定が可能です。
③	 : 押すと録音の ON/OFF が切り替わります。 「 録音 P43 」でも設定が可能です。
④	 : 押すとシステム設定画面に切り替わります。
⑤	電源ランプ
⑥	ステータスランプ
⑦	リセットボタン

※電源オフ後も、録画データ保存のため数秒間点灯(点滅)しますが異常ではありません。

メイン画面

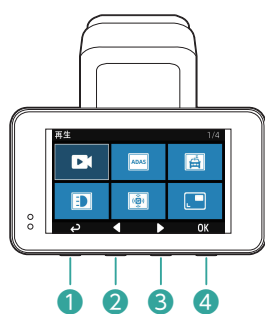


①録画標識	録画時、●がゆっくり点滅(1 秒に 1 回)します。
②解像度	設定した解像度を表示します。
③ワイドダイナミックレンジ	WDR ON
	WDR OFF
④音声録音	音声録音 ON
	音声録音 OFF
⑤ヘッドライト警告	ヘッドライト警告 ON
	ヘッドライト警告 OFF
⑥GPS	(緑)GPS 信号レベル正常
	(赤)GPS 信号レベル弱
	GPS 信号無し
	アイコン非表示:GPS 設定 OFF
⑦録画時間	録画中、録画した時間を表示します。
⑧現在時刻	現在の時刻を表示します。

※設定の変更は、以下にあるシステム設定画面をご確認ください。

—システム設定画面

※システム設定の詳細は「[システム設定 画面 1/4 P40](#)、[システム設定 画面 2/4 P41](#)、[システム設定 画面 3/4 P43](#)、[システム設定 画面 4/4 P44](#)」をご確認ください。



①		一つ前の画面に戻ります。
②		前の項目に移動します。
③		次の項目に移動します。
④		ボタンを押すと確定します。

録画について

常時録画

エンジンを ON(車両キースイッチを ACC または ON)にした後から、エンジンを OFF(車両キースイッチを OFF)にするまでを自動で録画し、microSD カードに記録します。

※エンジンを ON にしてから本製品が起動し録画を開始するまでには約 10 秒ほどのタイムラグがあります。

イベント録画

衝突などによる車体の激しい揺れや急ブレーキを感知すると、「常時録画」とは別に「イベント録画」フォルダに動画を記録します。(→[衝突検知 P40](#))

 ボタンを押しても「イベント録画」をすることができます。

※ 事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。
(100%急ブレーキで反応するとは言い切れませんのでご注意ください。)

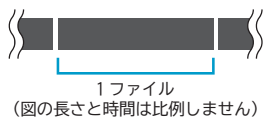
その場合は  ボタン操作での録画を行うことをおすすめします。

※ 駐車中の録画には別売の駐車監視ケーブル(PAC-IDR001)が必要です。

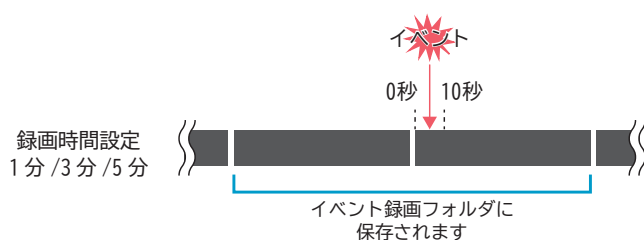
「イベント録画」は「常時録画」と同様に設定値により 1、3、5 分で記録されます。

「イベント録画」フォルダに保存するファイルおよびファイル数は、「[録画時間](#)」設定 [P41](#) およびイベント発生タイミングによって異なります。

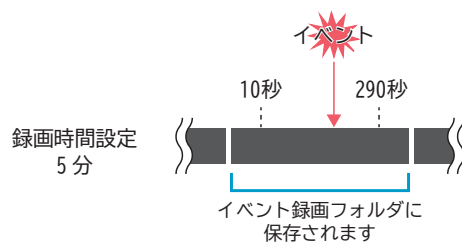
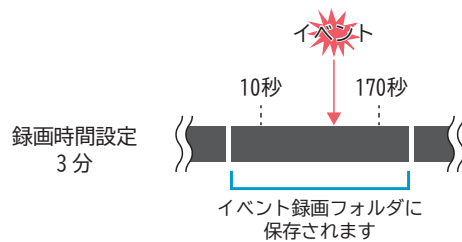
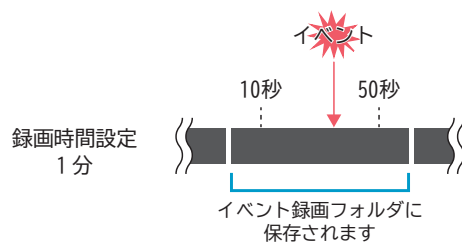
表示例



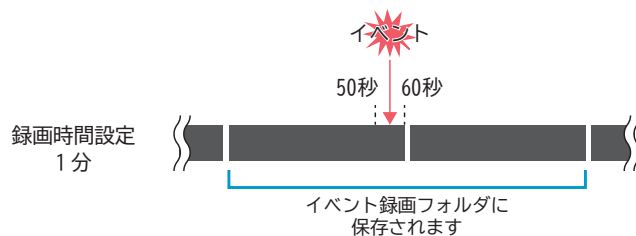
イベント(衝撃検知 /  ボタン操作)が、
ファイルの録画開始後 0~10 秒の間で発生した場合

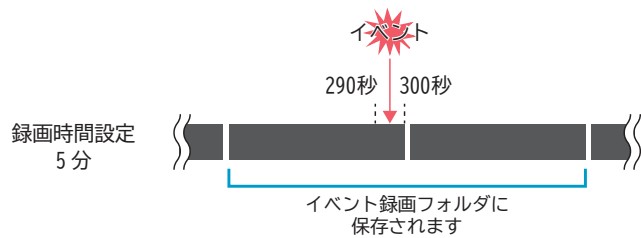
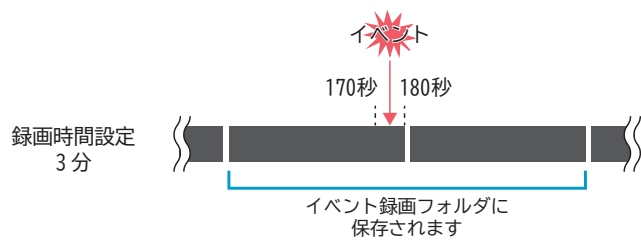


イベント(衝撃検知／ボタン操作)が、
ファイルの録画開始後 10 秒～終了前 10 秒の間で発生した場合



イベント(衝撃検知／ボタン操作)が、
ファイルの終了前 10 秒間で発生した場合





運転支援機能について

本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。

- ・ 運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況・走行状態の変化を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況・走行状態の変化を判断することはできません。
お知らせの有無に関わらず、必ず運転者が状況・状態を確認してください。

※ 夜間や悪天候時、あるいは昼間でも道路や走行状況などにより正しく動作しない場合、頻繁にお知らせする場合があります。

－ 先行車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進を検出し、所定時間内に走行を開始しないと音声でお知らせします。(→[メッセージ確認表 P53](#))

－ 車間距離警告機能

走行中、前車への近づきすぎを検知した際に音声で警告します。

－ 車線逸脱警告機能

走行中、車線のはみ出しを検知した際に音声で警告します。

スクリーンセーブモード

モニター消灯時間設定メニューで設定された時間に達すると、画面が自動で消灯します。

任意のボタン([本体⑪ P13](#) のいずれか)を押すと、通常の録画画面に戻ります。(→[モニター消灯時間 設定画面 P41](#))

映像を見る

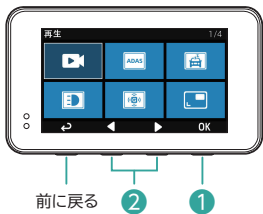
録画した映像は、本体またはパソコンで再生ができます。

■ 本体で映像を見る

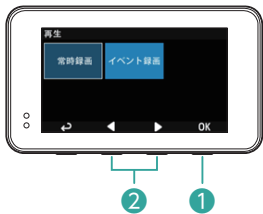
1. ①を押してシステム設定画面に切り替える。



2.  を②で選択し、①を押す。



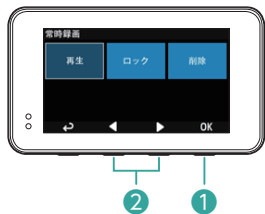
3. 見たい映像のフォルダ(通常録画・イベント録画)を ②で選択し、①を押す。



4. ファイル名を参考にして ②で映像を選択し、①を押す。



5. ②で「再生」を選び、①を押す。



■ パソコンで映像を見る

microSD カードを本体から取り出し、Windows[®]8.1 以上のパソコンで、標準動画再生ソフトを使用して再生してください。

本製品で記録した映像はスマートフォンでは再生できません。

microSD カード内のデータが破損するおそれがあるため、スマートフォンでの読み取りはしないでください

microSD カード

— microSD カードについて

- ・ 付属の microSD カードは本製品専用です。
新しい microSD カードを使用する際は、起動時に表示されるメッセージにしたがい、フォーマットを行ってください。
また、使用中は 1 か月に 1 度フォーマットをすることを推奨します。
フォーマットをすると、記録されたデータがすべて消去されますのでご注意ください。
- ・ microSD カードは消耗品です。
1 日 2 時間程度使用した場合で約 2～3 年を目安に交換することをおすすめします。
使用状況により、使用できる期間が短くなることがあります。
- ・ microSD カードに本製品以外のデータを入れないでください。
動作が不安定になることがあります。
- ・ 使用できる microSD カードは microSDHD 32GB～microSDXC 256GB、スピードクラス C10 以上です。

microSD カードの取り出しかた

- ① 車両キースイッチを OFF にし、電源ランプが消灯したことを確認する。

→電源オフ直後は、録画データ保存のため電源ランプが数秒間点灯(点滅)します。電源ランプが完全に消灯するまでお待ちください。

- ② microSD カードを軽く押し込む。

- ③ microSD カードが少し飛び出てきたら、microSD カードをつまんで引き抜く。

※ microSD カードの飛び出し、落下、紛失にご注意ください。



注意

SD カードの抜き差しを行う際は、必ず本製品の電源を切ってから行ってください。

フォーマットのしかた

システム設定の[画面 3/4 P43](#) を参照してください。

記録可能時間

microSD カード容量	記録時間(目安)※
32GB(付属)	約 165 分
64GB	約 331 分

128GB	約 663 分
256GB	約 1326 分

※ 記録解像度が以下(初期値)の場合

フロントカメラ:2560×1600

リアカメラ:1920×1080

※ microSD カードの容量がいっぱいになると古いファイルから消去され、繰り返し録画が継続されます。

本製品は、起動時に microSD カードの状態を自動でチェックします。

破損や不具合がある場合には、音声でお知らせします。(→[メッセージ確認表 P53](#))

ファイルについて

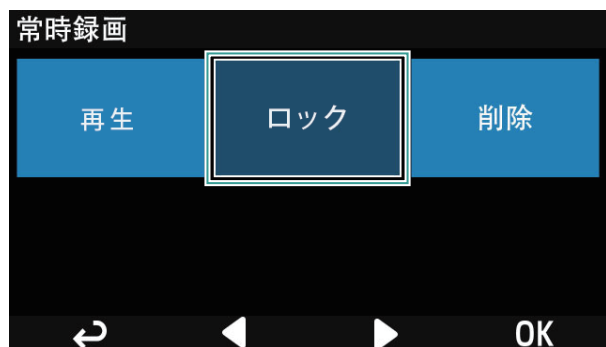
－ファイルの保存先について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダへ録画を開始した日付・録画データの種別を元にしたファイル名で保存されます。

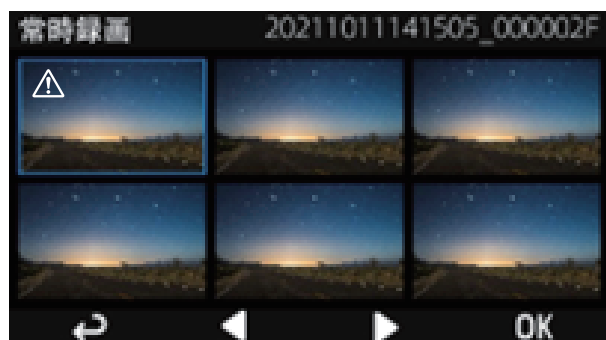
フォルダ構成	ファイル名
Normal: 常時録画のデータ Emerg: イベント録画のデータ	F/R 2023 0505 131545 _000001 年 月日 録画開始時刻 連番 F: フロントカメラ、R: リアカメラ

－ファイルの保護

ファイルを選択し、「ロック」を選択して OK を押すとファイルがロック(保護)されます。



ロック(保護)されているファイルには、左上に マークが表示されます。



－ファイルの保護解除

保護解除する場合は、「ロック解除」を選択して OK を押すとロック(保護)が解除されます。

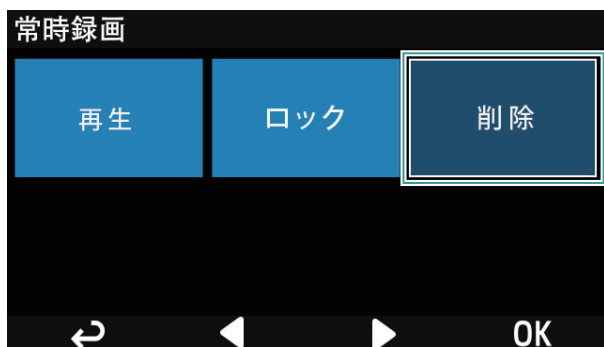


ファイルのロックに関して

- ・ イベント録画に保存されたファイルは自動でロックされます。
- ・ 常時録画に保存されたファイルは自動でロックされません。必要に応じてロックを行ってください。
- ・ ロックされているファイルには、「削除」は表示されません。
ロックされたファイルを削除する場合は、ロックを解除してください。
- ・ イベント録画とロック動画の領域は microSD カード全体の 40% となります。
40% を超える分は、ロックをしても古いデータから上書きされますので、必要なファイルはパソコンなどにバックアップを取ってください。

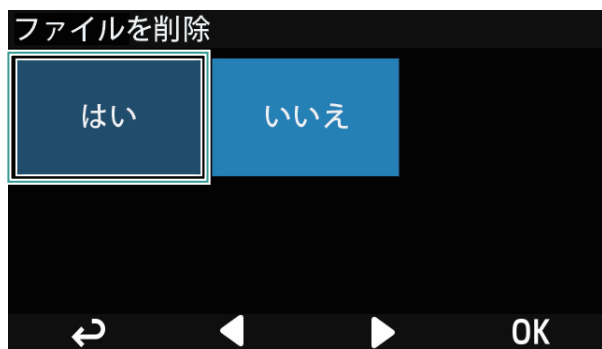
— ファイルの削除

ファイルを選択し、「削除」を選択して OK を押すと、「削除」と「全削除」の選択が出てきます。



さらに、「削除」か「全削除」を選択して OK を押すと「はい」「いいえ」が出て、「はい」を選択して OK を押すと削除が実行されます。



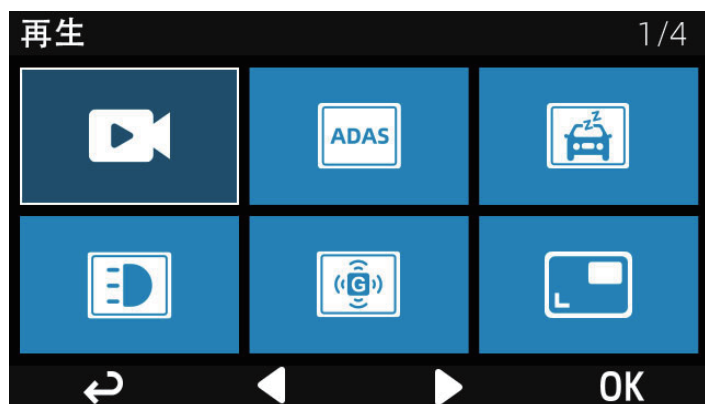


全削除にしても、ロックされているファイルは削除されません。

※全削除が完了してフォルダ内のファイルがなくなると画面に「ファイルがありません」と表示されます。

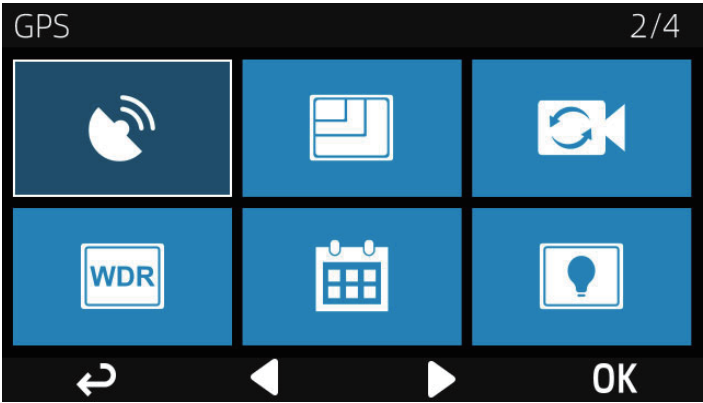
システム設定

画面_1/4



項目	説明	設定内容 ※赤字が初期設定です。
再生	記録した動画の選択・再生	常時録画/イベント録画
ADAS (安全運転支援システム)	ADAS(安全運転支援システム)アナウンスの設定 ①先行車発進お知らせ機能 ②車間距離警告機能 ③車線逸脱警告機能 以上 3 つのアナウンスを設定します。 (→メッセージ確認表 P53)	OFF/ON
連続時間運転警告	連続運転警告アナウンスの設定 (→メッセージ確認表 P53)	OFF/1 時間/2 時間/4 時間
ヘッドライト点灯案内	ヘッドライト点灯警告アナウンスの設定 (→メッセージ確認表 P53)	OFF/ON
衝突検知	走行中の衝撃センサーの感度設定	OFF/高感度/中感度/低感度
液晶表示切替	録画中、画面に表示する映像を 以下 3 パターンから選んで切り替えられます。 ①フロントカメラとリアカメラの映像 ②フロントカメラの映像のみ ③リアカメラの映像のみ ※リアカメラの映像は正像で表示されます。(正像/鏡像の切り替え機能はありません。)	2 画面表示/Front/Rear

画面_2/4



項目	説明	設定内容 ※赤字が初期設定です。
GPS	GPS の設定	OFF/ ON
解像度	カメラ解像度の設定	2 カメラ接続時 F1600P 30 + R1080P 30 F1440P 30+R 1080P 30 F1080P 30 + R1080P 30 ・ 設定では 30(fps)と表示されますが、フロントカメラのイメージセンサーは 27.5fps で録画します。
		フロントカメラのみ接続時 2160P 30 1600P 30 1440P 30 1080P 30
録画時間	1 ファイルの録画時間の長さ設定	1 分/ 3 分 /5 分
WDR (ワイドダイナミックレンジ)	WDR の設定	OFF/ ON
日時設定	日時の設定	年/月/日 時/分/秒 ・ GPS 信号を受信すると自動的に日時を設定します。 GPS 信号を受信しにくい場所では、手動で日時を設定することをおすすめします。 ・ 日時情報のバックアップ期間は約 7 日間です。7 日以上電源を投入していない場合は、GPS 信号を受信するま

		での間日時情報が正しくない場合があります。
モニター消灯時間 	設定時間が経過すると画面を消灯します。 画面を表示させるときは、本体下部のいずれかのボタンを押してください。 (→スクリーンセーブモード P32)	オン(常時点灯)/ 30 秒 /3 分

画面_3/4



項目	説明	設定内容 ※赤字が初期設定です。
SD カード初期化	 SD カードの初期化(フォーマット)	はい/ いいえ
言語設定	 画面表示とアナウンスの 言語を設定します	日本語 /English
録音	 音声の録音設定	OFF/ ON
輝度調整	 記録動画の明るさ設定	3/2/1/ オート /-1/-2/-3
録画時刻表示	 記録動画への時刻・緯度経度・速度の表示設定	OFF/ ON
駐車監視モード	 駐車監視ケーブル使用時の記録設定	OFF /ON ・ 駐車監視ケーブルを使用していないときは、車両キースイッチをオフにした場合に本製品の電源がオフになるため、本設定を ON にしても駐車監視モードは動作しません。

画面_4/4



項目		説明	設定内容 ※赤字が初期設定です。
タイムラプス		駐車監視ケーブル使用時の タイムラプス録画の設定	OFF/ON ・ 駐車監視ケーブルを使用してい ないときは、車両キースイッチを オフにした場合に本製品の電源が オフになるため、本設定を ON に してもタイムラプスモードは動作 しません。
音量設定		スピーカーの音量設定	大/中/小
操作音		ボタン操作時の音の設定	OFF/ON
デフォルト設定		設定の初期化	はい/いいえ ・ 「はい」を選択して OK を押すと 設定を初期化し、再起動します。
システム Ver		ソフトウェアのバージョン情 報	バージョン

駐車監視モード・タイムラプスモードについて

別売の駐車監視ケーブル PAC-IDR001 を使用することで、駐車時の映像を駐車監視モードとタイムラプスモードで記録することができます。

－駐車監視モード

駐車監視モードとは：駐車中の衝撃を検知して映像を記録します。

車が止まるとセンサーが車が起動していないことを検知し、5 分後、画面に「駐車監視モードに入っています」と表示され、駐車監視モードに入ります。

駐車監視モード中に衝撃を検知すると、イベント録画を 30 秒間行います。

録画中は画面は消灯したままですが、「♪イベント録画に動画を保存しました」とアナウンスが流れます。

その間、また衝撃を検知した場合、30 秒継続してイベント録画を行います。

衝撃を検知しなかったときは、30 秒の動画を保存した後に、電源オフし自動的に駐車監視モードに戻ります。

[録音 P43](#) の設定が ON の場合は音声も記録されます。OFF の場合、音声は記録されません。

－タイムラプスモード

タイムラプスモードとは：1 秒に 1 枚の画像を記録し、10 分間の映像を 1 ファイルとして保存します。再生すると早送りのような映像になります。

車が止まるとセンサーが車が起動していないことを検知し、5 分後に画面がオフになり、タイムラプスモードに入ります。

撮影範囲内の被写体の動きを検知したら、動画を 10 分間録画します。（この 10 分間の動画は「常時録画」フォルダに保存されます。ロックはされません。）

録画中、画面は消灯したままです。

その間、また撮影範囲内の被写体の動きを検知した場合、10 分間継続して録画を行います。

撮影範囲内の被写体の動きを検知しなかったときは、録画を停止します。

このサイクルは、駐車監視ケーブルが車のバッテリーの電圧低下を検出するまで繰り返されます。

録画中、センサーが衝撃を検知したら、動画をロックし「イベント録画」フォルダに保存されます。

タイムラプスモードは、[録音 P43](#) の設定によらず、音声は記録されません

注意

・駐車監視ケーブルをドライブレコーダーに接続して2週間以上運転しない場合は、バッテリー上がりのリスクがあるため、駐車監視ケーブルの使用を推奨しません。

・駐車監視モードでは車の振動、タイムラプスモードでは被写体の動きを検知して記録を開始します。

機械式立体駐車場等の振動が加わる場所や庭木などの被写体に動きが常にある場所で利用すると、バッテリー上がり

のリスクがあるため推奨しません。

- ・駐車監視モードとタイムラプスモードは同時に ON になりません。最後に ON に設定した機能が優先されます。
- ・駐車監視モードとタイムラプスモードの両方が OFF の場合、低電圧保護機能が作動するまで常時録画を継続します。

駐車監視ケーブルはバッテリー電圧が 11.9V になったことを確認し、3 分後に低電圧保護機能が動作し、シャットダウンします。

(検出電圧は目安です。状況により誤差を生じる場合があります。)

お手入れ

お手入れ方法

お手入れは電源ケーブルを抜いて実施してください。

- 本体が汚れた場合は、シリコンクロスかやわらかい布で乾拭きをしてください。
汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とした後、クリーナーを拭き取ってください。
かたい布やシンナー・アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり、変形や変質・破損の原因になります。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布で軽く拭いてください。
強くこすると傷の原因になります。

お困りのときは

よくある質問

- 電源が ON にならない
- 電源ランプが点灯しない

→電源ケーブルやシガーソケットアダプターが正しく接続されていますか？
接続や配線を確認してください。

- 車両停止しても本体電源がオフにならない

→別売品の駐車監視ケーブルを使用している場合は、車両のバッテリーから電源が供給されるため、本体電源がオフになりません。

強制的に電源をオフにする場合は、本体の③microUSB ポート(GPS と表示されているポート)から GPS モジュールを外してください。

- GPS 信号を受信しない

→GPS モジュールが正しく接続されていますか？
接続や配線を確認してください。

→一部の断熱ガラスや熱吸収ガラス、ミラー式フィルムを装着している場合 GPS 衛星からの信号を受信できないことがあります。

→GPS モジュール周辺に電波を遮断するものはありませんか？
取り付け説明書を確認し、受信に影響が出ない位置に取り付けてください。

- 時刻がおかしい

→GPS 信号を受信できない環境では、自動で日時情報を補正できないことがあります。

- 位置情報や速度が取得できない

→屋内やトンネル内などでは GPS 信号を受信できません。

- リアカメラの映像が映らない
- リアカメラの映像・2 画面に切り替わらない

→リアカメラが正しく接続されていますか？

リアカメラが接続されていない場合は、リアカメラの映像や 2 画面表示の切り替えができません。

接続や配線を確認してください。

- 動画が記録されない

→microSD カードが破損していませんか？

本製品で microSD カードをフォーマットしてください。

フォーマットしても改善されない場合は、新しい microSD カードをご使用ください。

microSD カードは消耗品です。書き込み可能回数などの寿命があります。また、使用状況により microSD カードの寿命が短くなることがあります。

→車両のキースイッチを ON にしてから本製品が録画を開始するまでには約 10 秒程度のタイムラグがあります。起動前の映像は記録されません。

- 録画ファイルがない、見つからない

→microSD カードがいっぱいになると、古いファイルから上書きされます。

必要なファイルはパソコンなどにバックアップしてください。

→録画データは、常時録画またはイベント録画のフォルダに保存されます。

各フォルダを確認してください。

- 事故時の衝撃映像が保存されていない

→事故時の衝撃によっては、自動でイベント録画に保存されない場合があります。

常時録画のフォルダを確認してください。

自動でイベント録画されない場合に備えて、念のためボタン操作での録画を行うことをおすすめします。

- 駐車中の録画ができない

→駐車時の録画には別売の駐車監視ケーブル PAC-IDR001 が必要です。

駐車監視ケーブルを接続し、本体メニューで駐車監視モードまたはタイムラプスモードを ON の設定にしてください。

— 画像がぼやける

→カメラレンズが汚れていませんか？

やわらかい、乾いた布で軽くカメラレンズを拭いてください。

→カメラレンズに保護シートがついたままになっていませんか？

保護シートをはがしてお使いください。

— 画面がすぐ消えてしまう/表示されたままになっている

→モニター消灯時間の設定をご確認ください。

— 液晶画面に小さな暗い点や明るい点が出る

→液晶パネルの現象です。故障ではありません。

— 録音できない、音声記録されていない

→マイクは ON になっていますか？

録音設定を確認してください。

→タイムラプスモードでは音声は録音されません。

— アナウンスの音量が小さい

→音量設定が小になっていませんか？

音量設定を確認してください。

— 本体が熱くなる

→動作中、本体表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

— 画面がかたまって動かない

— ボタンを押しても反応しない

— 起動しなくなったり、動作が不安定になる

→microSD カードに本製品以外のデータが保存されていると動作が不安定になることがあります。

・ 本製品で microSD カードをフォーマットしてください。

・ リセットボタンを押して再起動してください。

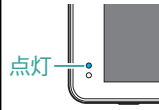
リセットしても microSD カード内の録画データは消去されません。

— microSD カードがパソコンで認識されない

→ 付属の microSD カードは SDHC 規格です。

ご使用のカードリーダーが SDHC 規格に対応しているか確認してください。

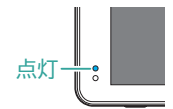
LED ランプ確認表

青点灯 	電源 ON
赤点滅 	録画中
赤点灯 	録画中断

駐車監視モード・タイムラプスモード

駐車監視モードに入ると:

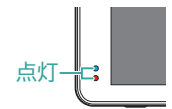
赤消灯、青点灯



駐車監視モード

タイムラプスモードに入ると:

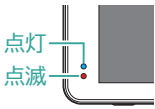
赤点灯、青点灯



タイムラプスモード



衝撃・移動を検知すると:赤点滅、青点灯



メッセージ確認表

音声アナウンス	状態
メモリーカードをフォーマットしてください。	microSD カードに異常があった際に、フォーマットを促します。 フォーマットを実施しても同じアナウンスが出る場合は、microSD カードを交換してください。
前の車両が動きました。	先行車の発進を検出し、お知らせします。
車間距離をとってください。	走行中、前車に近づきすぎた場合に警告します。
車線に注意してください。	走行中、車線をはみ出た際に警告します。
そろそろ[1/2/4]時間になります。 休憩しませんか。	長時間運転による疲労を防ぐため、設定した時間を経過すると休憩を促します。 時間は「 連続時間運転警告 P40 」で OFF、1 時間、2 時間、4 時間に設定可能です。
ヘッドライトをつけてください。	前方が暗い場合にヘッドライトの点灯を促します。
メモリーカードを挿入してください。	起動時、microSD カードが挿入されていない場合にお知らせします。
イベント録画に動画を保存しました。	イベント録画が保存されたときにお知らせします。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新に関する情報やアップデート手順は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.irisohyama.co.jp/>

その他の情報

オプション品

— 駐車監視ケーブル PAC-IDR001

取り付けには専門的な知識を必要とします。

安全のため、お買い求めになった販売店や専門技術者にご相談ください。

※接続について分からない・不安のある場合は、専門業者に依頼をしてください。

・弊社には車両側の接続箇所に関する情報はありません。

お問い合わせいただいてもお答えいたしかねますので、車両販売店などにご相談ください。

・車両電源が OFF の状態で、シガーソケットや車両 ACC 電源線(ACC)に通電している車両に取り付ける場合は、本製品の ACC 電源線(ACC)をイグニッション電源線へ接続してください。

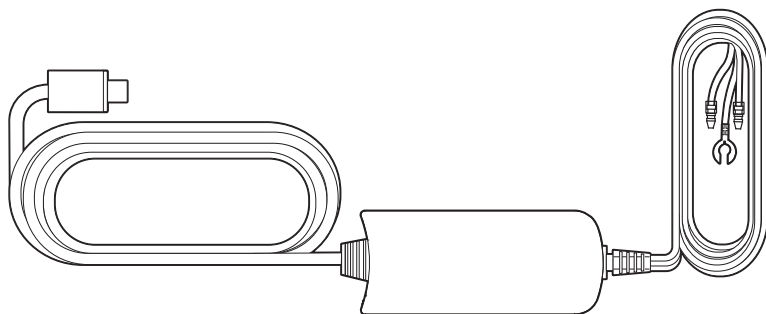
・長時間録画を行う場合、microSD カードの容量やドライブレコーダーの設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

・駐車監視モード作動中は microSD カードへ記録する時間が増えるため、microSD カードの寿命が短くなります。あらかじめご了承ください。

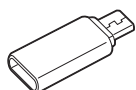
・本製品は防じん・防滴・防水仕様ではありません。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所への設置はしないでください。

セット内容



駐車監視ケーブル



Type-C microUSB 変換アダプター

接続作業の前に

- ・ 車両キースイッチがオフになっていることを確認してください
- ・ 車両のバッテリーのマイナス端子を外してください

接続方法

① 常時電源線(BATT+)・ACC 電源線を、車両の各配線に接続します。

ACC 電源線(ACC)は車両のキースイッチが OFF の位置で電圧が0 Vにならない車両の場合、イグニッション電源へ接続してください。

② アース線を車両のアースボルトへ確実に共締めしてください。

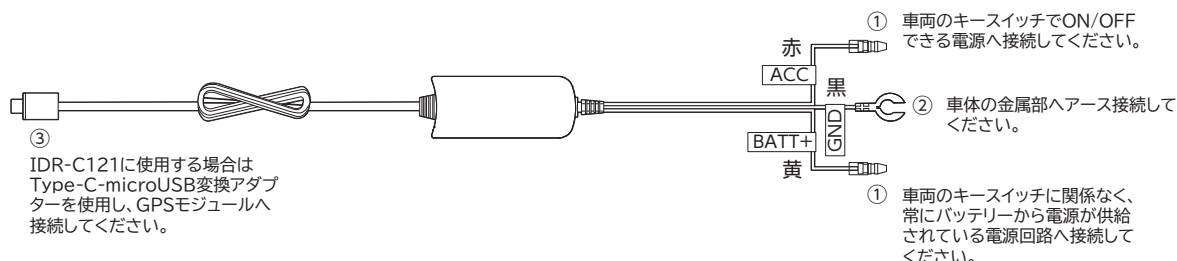
③ 電源プラグを対応ドライブレコーダーの電源端子(microUSB ポートまたは Type-C ポート)に接続します。

IDR-C121 に接続する場合は Type-C、microUSB アダプターを使用し、GPS モジュールに接続します。

④ ドライブレコーダーの取扱説明書を参照し、動作確認を行ってください。

本体メニューより、駐車監視モードを ON にすることで、駐車中に衝撃を感知したのち録画を開始します。

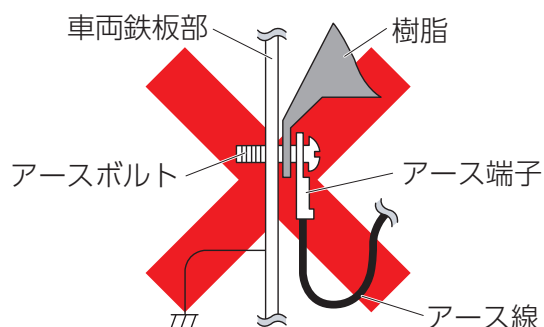
また、タイムラプスを ON にすると、駐車中に間欠動画の録画を行います。



■アース端子の取り付けについて

アース端子とアースボルトの間に樹脂などを挟んでいると動作が不安定になることがあります。

車両鉄板部の、塗装のない、金属地の露出している部分に確実に共締めしてください。



仕様

寸法(本体)(ケーブル部を除く)

約 59.5×25.4×17.6mm

入力側ケーブル長	約 0.5m
出力側ケーブル長	約 3.5m
質量	約 120g
入力電圧	DC 12V
出力電圧	DC 5V
シャットダウン電圧※1	DC 11.9V
動作温度	−20℃～+ 60℃

※1:シャットダウン電圧の検出値は、状況により誤差を生じる場合があります。

※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって無料交換させていただきます。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にご相談ください。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にお問い合わせください。

仕様

寸法	フロントカメラ		90(W)×84(H)×60.4(D)/mm
	リアカメラ		43(W)×50(H)×30(D)/mm
重量	フロントカメラ		148g
	リアカメラ		31g
入数			1
付属品			リアカメラ、シガーソケットアダプター、GPS モジュール、電源ケーブル(3.6m)、リアカメラケーブル(8m)、microSD カード(32GB)、角度補正スペーサー、かんたん操作ガイド(保証書付)、取り付け説明書
電源電圧			DC12V
動作温度範囲			-10 ～ 60℃
動作湿度範囲			10 ～ 80%
最大消費電流			950mA 以下
カメラ	フロント	色	黒
		液晶サイズ	3.0 インチフルカラー TFT 液晶
		センサー	1/2.8 型 CMOS センサー STARVIS 技術搭載
		総画素数	840 万画素
		有効画素数	最大 829 万画素
		レンズ画角	水平 113°、垂直 60°、対角 136°
		フレームレート	30 fps(イメージセンサ出力 27.5fps)
		F 値	1.8
		WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能	有
		録画サイズ	3840×2160(フロントカメラのみ使用時) 2560×1600 2560×1440 1920×1080
	リア	色	黒
		センサー	1/2.9 型 CMOS センサー
		総画素数	207 万
		有効画素数	最大 207 万画素
		レンズ画角	水平 104°、垂直 55°、対角 126°
		フレームレート	30fps
F 値		2.2	
録画サイズ		1920×1080	

記録方式	常時録画/イベント録画(衝撃録画/手動録画)/ 駐車監視録画※(衝撃録画/タイムラプス録画)
	※駐車監視録画には別売の駐車監視ケーブル PAC- IDR001 が必要です。
音声記録	ON/OFF 可能
GPS(位置情報記録)	有
G センサー(衝撃検知)	有(ON/OFF 可能、感度 3 段階設定可能)
記録映像再生方法	PC 標準動画ソフト ※Windows®8.1 以上/本体液晶
記録媒体	microSD カード(付属:32 GB class10) 16GB~256GB 対応 SDHC/SDXC 規格対応
記録映像ファイル形式	MP4(mpeg4+AAC)
安全運転支援機能	有 車間距離警告 車線逸脱警告 先行車発進お知らせ (長時間運転告知) (ヘッドライト点灯)
保証期間	1年間(付属品・消耗品は除く)

※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

商標

- SD、microSD、SDHC、microSDHC、SDXC、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- STARVIS は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android、Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

お問い合わせ先

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564) (通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>